

第12回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成22年3月18日（木） 午後6時30分～午後8時30分
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員、津久井農業政策課主幹、堀越農業政策課長補佐、田中企画政策課長補佐、奥川係長代理、小川主任

(委員10名、市5名)

【概要】

1. 道の駅の建設について

- ・市の農業政策課から「道の駅」の建設について説明した。
- ・「道の駅」は国土交通省の管轄で、①休憩機能、②情報発信機能、③地域連携の機能を合わせ持つ施設である。
- ・上武国道沿いに平成24年3月のオープンを予定している。
- ・旧尾島町の総合計画に位置づけられていた施設で、合併後、引き続き「新生太田総合計画」に位置づけられた事業である。
- ・施設は、地域農作物情報発信コーナー、飲食コーナー、多目的施設、休憩・情報発信施設、公衆トイレなどから構成される。
- ・「道の駅」には滞在型と通過型があるが、太田市は通過型の施設を予定している。
- ・委員から「工業製品の情報発信を行うのか」、「施設に植栽を増やした方が良い」などの質問があった。
- ・担当課からの回答は次のとおり。
- ・情報発信は、尾島ねぶた、RC航空ページェント、物産、姉妹都市の情報などを予定しているが、工業製品の情報発信について要望があったことをつなぎたい。
- ・駐車場整備に費用がかかるため、植栽を増やすことに限度があるが努力したい。
- ・その他、「市全体の情報発信に努めるべきである」、「野菜だけではなく肉もPRしたらどうか」などの意見が委員から出された。
- ・「道の駅」は、既に設計作業が進んでいるためハード面については提言が不可能である。施設の運営方法などのソフト面については、現時点でも提言が可能である。
- ・まちづくり市民会議では、道の駅についても提言することとする。

2. 産業（商業・工業・農業・お土産・食文化）について

- ・大型バスが立ち寄れるお土産屋がないのが現状である。
- ・観光バスが1週間に1台来ただけでは、お土産屋は経済的に成立しない。道の駅を活用するのが良いのではないか。
- ・市の観光案内のホームページを充実させた方が良い。より詳細な情報掲載が必要である。

- ・ガラクタ市や軽トラ朝市をやるのはPRにつながり、観光に結びつくのではないか。
- ・太田市は観光について、あまり意識していないのではないか。
- ・ぐんまちゃん家のような情報発信基地が太田市にも必要である。
- ・お土産は、品評会が認定することで統一したブランドを確立し、PRすることが大切である。
- ・ブランドを確立するためには、品評会に権威が必要である。
- ・七福神めぐりのお寺が、受験合格や縁結びなど様々な特徴を打ち出しても良いのではないか。
- ・観光地として認知してもらうには時間がかかるものである。

3. 第1期まちづくり市民会議の検証について

- ・事務局が第1期まちづくり市民会議の提言の実施状況について報告した。

4. その他

- ・次回の会議で歴史（産業遺産・文化遺産）を検討する。
- ・第1期まちづくり市民会議の実施状況の検証方法についても検討する。

【次回の会議】

日時 4月15日（木） 午後6時30分～

場所 太田市役所10階 政策推進会議室